ＪＡＰＰＡ通信

２０１９
１２月号

一般社団法人
日本事故防止推進機構
【事務局】
神戸市中央区海岸通2-4-8第2日新ビル5F
TEL.078-977-8888　FAX.078-977-8807　メール　contact@jappa.or.jp

■ＪＡＰＰＡ理事長　上西一美の「事故ゼロ社会への道」

皆さんこんにちはJAPPA理事長の上西です。つい先日の１２月４日に東京の観光バスで有名な「はとバス」が新宿の一般道の交差点で停車中のハイアーに突っ込み、ハイアーの運転手が死亡するという事故が発生してしまいました。バスの運転手は事故後の検査でインフルエンザに罹患していたことが発覚し、「事故の前後のことは記憶にない」と語っているとのことです。はとバスの会社には警視庁の家宅捜索および国土交通省の特別監査が入ることとなりますが、間違いなく運転手個人の責任に留まらず、会社としての安全管理体制を問われることとなるでしょう。

この事故から我々が学ばなければならないことは**「　止まる勇気　」**を持たなければならないと言うことです。運転手は「仕事に穴をあけると仕事が来なくなると思った」という内容の話をしているそうです。この運転手がどのような雇用形態の下に勤務していたかは定かではありませんが、「人の命を奪う」という最悪の結末に結びついたことの弁明には決してなり得ません。そして同時に**「　止める勇気　」も必要**ということです。すなわち運行管理者が「運転をさせないという判断」を勇気と責任をもって行うことの重要性です。すなわち**「　運行管理者という職責の重大さ　」と「　点呼の重要さ　」**を改めて真摯に見直す必要を実感しています。

私はまだ２０歳代のころ（もう２０数年前になります）、あるタクシー会社で運行管理者を任されていました。しかしその当時にその職責の重大さをしっかりと自覚し、運転手一人一人の健康状態をしっかりと見極めるための本当に意味のある点呼を行えていたかというと、その答えはＮＯだと言わざるを得ません。

人は「　失敗から学ぶ　」ということも重要ですが、自動車事故に関しては　**たった一度の失敗が「人の命を奪ってしまうという取り返すことのできない失敗」になり得ます。**
是非とも**「　止まる勇気と止める勇気　」「　点呼の重要さ　」**をこの事故から改めて考えてみましょう。

また、このような事故があると「　やはりしっかりと事故防止にとりくまなくては、、、　」と考えるきっかけにはなりますが、**何よりも続けることが重要である**ということも重ねてお伝えしたいと思います。

JAPPAが会員の皆様に教材を毎月お届けしているのも、決して単発の取組みに終わってしまうのではなく**「　毎月毎月、無理なくなるべく少ない負担で、継続的に事故防止活動を続けて頂ける　」**ということをコンセプトとしてサービス提供しています。

会員様の中には「　何か月かに一回まとめて　」教材を活用頂いているというお話もお聞きすることがありますが「　人間は忘れてしまう生き物　」であるという現実から有効性を考えた時に、**やはり月に一度くらいの頻度で事故映像に触れて頂きたい**というのが、私どもJAPPAの願いですので、是非ともお考えいただけますようお願いいたします。

併せて　YouTubeチャンネル「上西一美のドラレコ交通事故防止」には、
3分程度の動画を随時アップしていっておりますので、是非ともチャンネル登録していただけましたら
「　事故映像に触れる機会　」をより手軽に持っていただけると思います。

【是非チャンネル登録を】

YouTubeチャンネル「上西一美のドラレコ交通事故防止」　⇒